

ACCESS 下北ジオパークへのアクセスガイド



鉄道

東京駅 → 八戸駅 東北新幹線 約2時間 45分
 八戸駅 → 下北駅 快速しもきた 約1時間 45分

航路

函館港 → 大間港 津軽海峡フェリー 約1時間半

自動車

青森東IC → 下北駅 約1時間 50分
 八戸北IC → 下北駅 約2時間 20分

SHIMOKITA GEOPARK

下北ジオパーク

青森県下北地域



AREA MAP 下北ジオパークのみどころ



詳しくは
ホームページへ



INFORMATION 旅のお役立ち情報



VISITOR CENTER ビジターセンター

住所 / 青森県むつ市田名部町 10-1
 むつ来さまい館 2F
 開館時間 / 9:00~21:00
 電話番号 / 0175-33-8191

おすすめ! ガイドと一緒に楽しもう!

ジオガイドによるツアーが楽しめます! 詳しくは

しもきた TABI あしすと



▼ ジオパークに関するお問い合わせは

下北ジオパーク推進協議会事務局
 〒035-8686 青森県むつ市中央一丁目 8-1 むつ市ジオパーク推進課内
 TEL : 0175-22-1111 MAIL : geopark@city.mutsu.lg.jp

▼ ジオツアー・教育旅行に関するお問い合わせは

(一社) しもきた TABI あしすと
 〒035-8686 青森県むつ市中央一丁目 8-1
 TEL : 0175-31-1270 MAIL : shimokita@kasamai-shimokita.or.jp



地球とつながる旅へ出よう。



私たちは持続可能な開発目標 (SDGs) を支援しています。

ほとけがうら
仏ヶ浦

海と生きる「まさかり」の大地

～本州最北の地に守り継がれる文化と信仰～



ほくぶかいがん
津軽海峡に面した北部海岸

おそれざん
東西8kmに広がる地層には、恐山の火山活動の痕跡と環境の変動が刻まれている

下北の大地に刻まれた、地球の記憶と出会う。

ジオパークとは、地球・大地（Geo）と公園（Park）を組み合わせた言葉。大地から地球の歴史を知り、人が地球とともに発展できる未来を目指して活動する地域のことです。

本州さいはての地・下北は、津軽海峡、太平洋、陸奥湾^{むつわん}という3つの海に囲まれた、まさかり形の半島地域です。この3つの海と、場所によって異なる成り立ちを持つ大地が、下北の生態系や人々の暮らしと文化に、大きな影響を与えてきました。目の前に広がる景色をよく観察してみると、大地と海は、1億5000万年のあいだにこの場所で起こった様々なことを語ってくれます。

下北の大地をめぐる旅へ出かけてみませんか。それはきっと、地球とつながる旅になるはずです。



下北最高峰から望む平野部と3つの海



刺身でも食べられるアンコウ



集落名の由来とも考えられている材木状の岩石

下北ジオパーク 1億5000万年の 大地の物語

約1億5000万年前～
下北のはじまり



しつかり
大きく曲がった地層（東通村・尻笥）

日本列島の土台は、プレートの沈み込みに伴って、当時の大陸のふちに形成された「付加体」です。尻屋崎周辺で見られる石灰岩やチャートは、この付加体の一部です。

約1600万年前～
日本海の誕生



やけやまさき
焼山崎の断崖

日本列島のもととなる部分が大陸から離れ始めると、その裂け目に海水が流れ込み、日本海ができました。焼山崎周辺の断崖は、当時の海底火山活動の激しさを物語ります。

約800万年前～
カルデラの形成



ぬいどういしやま
のだい
縫道石山から望む野平カルデラ

約800万～300万年前にかけ、奥羽山脈を中心に、火山活動によるくぼみ（カルデラ）が次々に形成されます。下北では、大畑、野平、仏ヶ浦などのカルデラができました。

約260万年前～
第四紀火山の活動



恐山の地獄にみだてられた景色

約300万年前以降、東北地方は強い圧縮の力を受け、急激に隆起。約260万年前からは「第四紀」とよばれる時代となり、第四紀火山である恐山や燧岳が活動しています。

約80万年前～
まさかり形の半島へ



さしあしざき
陸奥湾にのびる砂嘴・芦崎

大地のゆるやかな隆起、地球規模の気候変動に伴う海面の高さの変動により、下北の東西を繋いだ田名部平野や芦崎など、多様性に富む地形が形作られていきます。

下北ジオパークの ロゴマーク



下北ジオパークのロゴマークは、下北を構成する4つの地質と、下北半島を囲み大地を形作ってきた海を表現しています。